

燃料油脂新聞

発行所

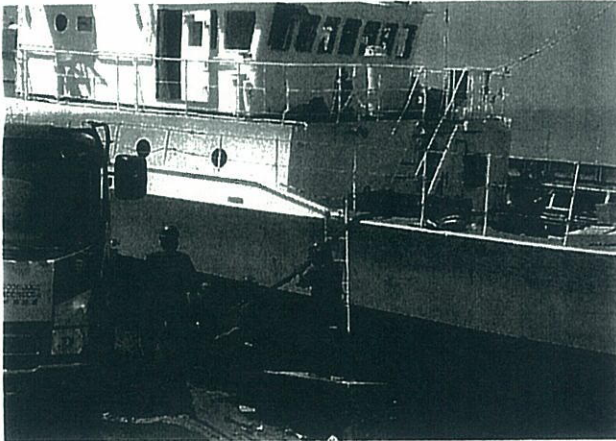
燃料油脂新聞社
 東京都港区新橋3-2-3
 ガソリン・スタンド会館
 振替口座番号00100-4-97743
 郵便番号105-0004
 編集局東京03(3501)2241
 販売局東京03(5532)1591
 札幌・仙台・関東・信越・
 東京・静岡・名古屋・金沢・
 大阪・広島・四国・福岡

©燃料油脂新聞社2012

震災直後から除去・清掃

エバークリーン処理量2500kℓ以上

【北上市「岩手」環境保全企業のエバークリーン(本社千葉県野田市・加藤栄作社長)は、東日本大震災で被災した東北地区の地上施設(タンクなど)や船舶の残油処理、タンク清掃などに復旧・復興に向けて大きく貢献している。東北地方の窓口になる東北支店(岩手県北上市・川野高弘取締役支店長)は震災直後の三月十四日から活動(作業)を開始し、その処理量は二千五百ℓ以上に達している。



東松島で被災船の除去・清掃作業をするエバークリーンの作業員

同支店は①被災対象物からの重油除去②船舶関係からの燃料、機械油除

去③地上・地下タンクからの重油除去④タンク清掃などの内容に復旧要請に心じて活動を開始し

仙台空港周辺までの沿岸部で漁船五十三隻、バースhip五隻、実習船等三隻、貨物船など二隻のほか多くの船舶で重油や機械油の除去。また地上施設では被災した油槽所や地下タンクなど二十六基、工場・変電所など多数の施設で処理を行い、処理数量は二千五百ℓ以上に達している。

川野支店長は「除去した重油や機械油は再生して販売して資源を有効活用している。一月には岩手県から産業廃棄物処分業と特別管理産業廃棄物処分業の許可証を受け、さまざまな品目の廃棄物を収集運搬し、中間処理、リサイクルを通じて社会貢献していきたい」と東北での活動に決意を新たにしている。

きょうの紙面

- 2 総合版
- 3 LPG版
- 4 } 東北エルピー
- 5 } ガス特集
- 6 東北版
- 7 首都圏版
- 8 九州版

第1回アストモスエコ会

新型エネファーム拡販など

新年度活動方針を公表



小竹英敏会長



酒井賢二東北支店長

【仙台】アストモスエネルギー東北支店(酒井賢二支店長)とアストモスエコ会・東北(小竹英敏会長)力カク興商取締役ガス部長は二十三日、今年第一回目の会合を開き、二〇一二年度活動方針「明日へのSHEINKA」活動(くらしとエネルギーの総合サービス事業者を目指して)に沿った「二〇一二年度活動方針」を発表、今年度の本格活動をスタート。昨年

は大震災の影響で六月に開始したが、今年は例年通り四月開始となった。小竹会長がはじめに「大手ハウスメーカーの電化率が全国平均五ポイント落ちた。電化一辺倒から電気がガスか、客もどちらを選択するか揺れ始めている。この大事な

時期に、どういう提案をすればいいのか、われわれが手をこまねいては電化に押し切れられ土俵の外に押し出されてしまう。当会も会員皆様のお役に立てるよう活動を強化していきたい」と述べ、「見せましようエコ会の力を」と結んだ。

酒井支やるべき最後は正しい。今年しよになきましょ松園智「二〇一〇年度、販促進について」今こそ「今こそサービすべき者として」今こそ「真の進化」の進化」